

「いいよね！こんな世界」を

目指す17の目標



狭山市長 小谷野 剛

明けましておめでとうございます。
 昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの日常を「新しい生活様式」へと一気に変えなくてはなりません。そして、経済・社会活動はもちろんのこと、教育やまちづくりなど多くの分野で「持続可能性」が問われました。
 今月号の特集はSDGsです。今、多くの国々や地域、企業や団体が17の目標に向かって、自分たちの活動を再定義し、よりよい社会の実現に向けて動き出しています。この目標に共通するキーワードは「持続可能性」です。狭山市はこれまで多くの方のご協力によって発展を続けることができました。今よりもっと良いまちにするためにもSDGsの意義をご理解いただき、共に同じゴールに向かって歩みを進めていきましょう。

17のアイコンは、分かりやすい言葉で

1 貧困をなくそう あらゆる貧困を終わらせる	2 飢餓をゼロに 飢餓を終わらせ、安定した食料と栄養を確保する	3 すべての人に健康と福祉を 全ての人が適切な予防、治療を受けられるようにする	4 質の高い教育をみんなに 全ての人が公平で質の高い教育を受けられるようにする
9 産業と技術革新の基盤をつくろう インフラを整備し、持続可能な産業化を推進する	10 人や国の不平等をなくそう 格差のない、多様性を認め合う社会にする	今年、狭山市で予定している事業を目標ごとに見てみると… 3 すべての人に健康と福祉を 新型コロナウイルスワクチン接種事業を速やかに行えるよう、すでに準備を始めています 4 質の高い教育をみんなに 全小・中学生へ1人1台パソコンを整備し、子どもの力を最大限に引き出す学びを目指します 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 柏原、上広瀬地区の工業団地拡張事業は順調に進んでいます。また、狭山環状有料道路は7月末に無料化されます 11 住み続けられるまちづくりを 入曽駅周辺整備事業の工事に着手していきます	
15 陸の豊かさも守ろう 森林を管理・保全し、持続可能な形で利用する			

2030年のゴールに向けて

SDGsは、2030年までに世界中の人々が協力して達成したい目標です。将来、豊かな自然がなくなったり、野菜や海産物が食べられなくなったり、ひどい差別があったり…などすると、そこで生活する人が悲しみますよね？だから、未来の人々が苦勞しないために、私たち一人一人の行動でSDGsを達成しなければなりません。国や企業だけがやれば良いのではなく、地球に住む私たち全員が関係することです。

SDGsのアイコンは、誰もが分かりやすいよう、17の目標を色分けし、全てを達成するための「ありたい未来」「いいよね！こんな世界」を表現しています。あなたや私のちょっとした取り組みが、「ありたい未来」につながります。

SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

外務省「持続可能な開発目標(SDGs)と日本の取り組み」より

5 ジェンダー平等を実現しよう 男女問わず仕事や家庭に参加できる環境を整える	6 安全な水とトイレを世界中に 全てのの人に水と衛生へのアクセスを確保する	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 誰もが手頃な価格で質の高いエネルギーを得られるようにする	8 働きがいも経済成長も 全ての人のための持続可能な経済成長、雇用を推進する
11 住み続けられるまちづくりを 都市を安全で、強靱かつ持続可能なものにする	12 つくる責任 つかう責任 資源効率を改善し、経済を成長させつつ資源の使用は抑える	13 気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうための対策を取る	14 海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
16 平和と公正をすべての人に 全ての人が平和で安全な生活を送ることができるように推進する	17 パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発にむけ、グローバル・パートナーシップを活性化する	 SDGsのカラーホイールと呼ばれ、17の目標カラーで構成されています	

SDGsに関する資料は図書館にも多数あります

SDGs関連サイト(外務省)